

施策評価シート

記載年月	令和2年9月
対象年度	平成31年度

1 施策の名称・めざす姿

施策名	029	環境に配慮した活動の促進				
総合計画	基本目標	安全で快適に暮らせる持続可能なまち（生活・環境）			担当部署名	生活環境部 環境政策課
	基本施策	03	生活環境の保全			
めざす姿	環境保全に関する適切な情報の提供や交流を行うことにより、市民一人ひとりが環境に対して高い意識を持ち、積極的に環境に配慮した行動を実践しています。また、地球温暖化を防止し地球環境を保全するため、エネルギー消費や環境負荷を低減する活動を実施し、環境にやさしい生活を送っています。					

2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H29年度	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度
(事業費)						
当初予算額	31,575,000	36,069,000	34,760,000	33,632,000		
国庫支出金	35,000	28,000	33,000	33,000		
都支出金	131,000	1,631,000	1,698,000	1,621,000		
市債	0	0	0	0		
その他	1,391,000	7,019,000	2,587,000	2,484,000		
一般財源	30,018,000	27,391,000	30,442,000	29,494,000		
予算現額	38,904,000	36,064,000	34,254,000	0		
決算額	33,251,238	30,528,120	32,124,207	0		
国庫支出金	21,000	16,000	41,000	0		
都支出金	7,173,947	1,611,537	1,517,500	0		
市債	0	0	0	0		
その他	1,358,000	5,234,600	2,380,000	0		
一般財源	24,698,291	23,665,983	28,185,707	0		
執行率	85.5	84.6	93.8	0.0		
(人件費)						
職員数	5.47	5.47	4.65	0.00		
職員人件費	42,018,483	43,016,228	37,348,591	0		
嘱託員数	0.00	0.00	0.00	0.00		
嘱託員人件費	0	0	0	0		
(間接経費)						
間接経費	402,148	369,543	423,814	0		
総コスト	75,671,869	73,913,891	69,896,612	0		

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				R 3年度 目標値
			H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	
二酸化炭素排出量	1,145.1	実績	1,062.6	997	-	-	996.2
	1000t-CO2	達成率	93.8	99.9	-	-	
省エネ行動の取組率	37	実績	62.1	40.9	-	-	89.5
	%	達成率	69.4	45.7	0.0	0.0	
小学校・中学校への太陽光発電システム等の導入校数	3	実績	3	3	-	-	5
	校	達成率	60.0	60.0	0.0	0.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

指標 について、エネルギー消費量、二酸化炭素排出量ともに減少はしているが、目標達成に向けては、更なる取組が必要である。

4 施策の進ちょく状況

	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度
進ちょく状況	遅れが生じている。このままでは目標達成が難しい	遅れが生じている。このままでは目標達成が難しい		
達成できている点	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー消費量の削減 ・市民への環境学習機会の提供及び環境行動の啓発 ・職員による環境負荷低減行動の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー消費量の削減 ・市民への環境学習機会の提供及び環境行動の啓発 ・職員による環境負荷低減行動の促進 		
達成できていない点	<ul style="list-style-type: none"> ・二酸化炭素排出量の更なる削減 ・二酸化炭素排出量削減に向けた取組の面的展開 ・環境に係るリーダーの育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・二酸化炭素排出量の更なる削減 ・二酸化炭素排出量削減に向けた取組の面的展開 ・環境に係るリーダーの育成 ・市民が環境へ取り組む意識の向上 		

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果

府中市職員エコ・アクションプラン及びISO14001の適正運用を行い、環境負荷低減に努めた。姉妹都市長野県佐久穂町と、平成23年7月に「府中市と佐久穂町との地球環境保全のための連携に関する協定」を締結し、カーボンオフセットを実施している。実施にあたっては、長野県「森の里親促進事業」の趣旨に則り、二酸化炭素の吸収量を増加させるとともに、住民相互が自然に親しみ体験する機会を確保した。事業継続のため、第2期協定を締結した。平成17年度から、地球温暖化防止対策の一環として、再生可能エネルギーの導入促進及び省エネルギーを推進するため、環境に配慮した住宅設備の設置に要する費用の一部を助成している。令和元年度までの累計で、約3,536,494tの二酸化炭素削減が見込まれている。啓発事業として、平成18年度から「環境フェスタ」を開催し、その後、他の事業との共同開催や新規イベントを開催し、拡充を図った。平成24年度からは「環境フェスタ」「グリーンフェスティバル」「リサイクルフェスタ」を統合した、「府中環境まつり」を開催した。平成23年12月1日に環境保全活動センターを開設した。運営にあたってはサポーター及びサポーターから選出した運営委員の協力を得ながら、会報、HP等により情報を発信した。平成24年度から、企業・市民の協力を得て「クール・エコの集い」を開催するなど、活動の拡大を図った。平成13年度から環境学習講座を実施するほか、NPO団体や東京農工大学への委託による環境調査を実施し、結果を「府中の環境」で公表した。平成25年度より府中市専用水道等の事務委託に関する規約に基づいて、専用水道等の管理及び執行を東京都に委託している。

今後の課題、状況や市民ニーズの変化

平成30年度から、ISO14001に基づき自ら宣言する、「自己適合宣言」を行っていているが、環境マネジメントシステムにおける質の低下が生じないよう努める必要がある。環境監査については他自治体との連携を進めていく。温暖化防止が進行すると、今後益々対応が求められると考えられるので、情勢を見極めていく。

今後の展開

エコハウス設備設置補助金については、新たに家庭用蓄電池システム、既設窓の断熱改修を対象に加えたところ、申請（交付）件数が増え、予定数に達した。今後も状況を見ながら事業展開を図っていく。環境監査については、平成30年度に4市（昭島市、日野市、調布市及び府中市）相互環境監査マニュアルを策定し、令和元年度より同マニュアルに基づき相互環境監査を実施した。今後も自治体間の連携を深めるとともに環境監査の実効性を高めていく。環境保全活動センターを中心とする市民・事業者・行政の連携を高めるため、更なる広報活動による周知を図ること、環境保全活動センターサポーター・事業者との協働により市民への様々な支援を行うこと、環境保全に関する相談対応等の連絡体制の確立をすることなどの環境活動の多面的な推進を行う。さらに環境学習を多様化することで学びの機会を増やし、様々な人々の交流や活動ができる場を提供する。これらのことで、より多くの市民に環境について意識を持ち高めて行くことを目指す。

6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
環境マネジメントシステム運営事業	法令・都条例に基づく届出。環境監査の一部を外部委託等を行い、環境法令の遵守及び徹底に努める。	法令・都条例に基づく届出。環境監査の一部を外部委託を行うのに加え、相互環境監査マニュアルに基づく、環境監査を実施する。	法令・都条例に基づく届出。第4次府中市職員エコ・アクションプランの見直しを行う。	法令・都条例に基づく届出。第3次環境基本計画を立案するための準備にとりかかる。
【進捗状況】	目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	生活環境部 環境政策課			
事業種別	法令・都条例に基づき、期限内の届出を行った。ISO14001に基づく「自己適合宣言」に伴い、環境監査に専門機関や他市職員に参加していただき、実効性の確保に努めた。	法令・都条例に基づき、期限内の届出を行った。ISO14001に基づく「自己適合宣言」に基づく環境監査の実効性の確保に努めた。		
主要な事務事業				
4か年事業費計(単位:千円)	8,416			
環境保全活動事業	環境啓発事業の実施。	環境啓発事業の実施。	環境啓発事業の実施。	環境啓発事業の実施。
【進捗状況】	やや遅れているが、概ね順調	【進捗状況】 やや遅れているが、概ね順調	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	生活環境部 環境政策課			
事業種別	概ね計画どおり事業実施が図れた。また、環境保全活動センターの適切な移転先及びその運営内容の見直しなどの検討を行なった。	今年度は特別公開講座を新たに開催した。また、環境保全活動センターの適切な移転先及び運営内容の見直しを具体的に検討した。		
主要な事務事業				
4か年事業費計(単位:千円)	17,748			
地球温暖化対策事業	カーボンオフセット事業及び森林間伐体験事業の実施。カーボンオフセット事業に係る新たな協議書の策定をする。	カーボンオフセット事業及び森林間伐体験事業の実施。佐久穂町との協議書及び森林整備計画に基づき事業実施していく。	カーボンオフセット事業及び森林間伐体験事業の実施。佐久穂町との協議書及び森林整備計画に基づき事業実施していく。	カーボンオフセット事業及び森林間伐体験事業の実施。佐久穂町との協議書及び森林整備計画に基づき事業実施していく。
【進捗状況】	目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	生活環境部 環境政策課			
事業種別	佐久穂町が定めた森林整備計画に基づき施業ができています。また、今後の森林整備の方法等について佐久穂町と協議書を策定した。	佐久穂町が定めた森林整備計画に基づき施業ができています。今後も佐久穂町と連携して進めていく。		
主要な事務事業				
4か年事業費計(単位:千円)	103,222			

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	H31年度		R 2年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 環境審議会運営事業	20		660,000	341,000	990,000	環境施策について、審議会を開催し、審議する。	B	1
2 環境マネジメントシステム運営事業	20		3,811,000	2,750,000	2,575,000	環境マネジメントシステムの運営	B	1
3 環境保全活動事業	20		5,937,000	5,656,108	5,176,000	環境保全活動センターを中心とし、市民・事業者・行政が一体となった環境啓発事業を実施する	B	1
4 地球温暖化対策事業	20		20,347,000	20,066,945	20,883,000	府中市地球温暖化対策地域推進計画の推進、環境に配慮した住宅設備の設置の助成	B	1
5 専用水道等衛生対策事業	10		4,005,000	3,310,154	4,008,000	専用水道等の衛生管理の事務事業	B	2
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			34,760,000	32,124,207	33,632,000			

施策評価シート

記載年月	令和2年9月
対象年度	平成31年度

1 施策の名称・めざす姿

施策名	030	まちの環境美化の推進				
総合計画	基本目標	安全で快適に暮らせる持続可能なまち（生活・環境）			主担当部課名	生活環境部 環境政策課
	基本施策	03	生活環境の保全			
めざす姿	市民と市が協力し、まちの美化推進を行うことで、全ての市民がごみやたばこのポイ捨て、路上喫煙、ペットのふんの放置をしないなど、高い美化意識を持ち、美しく快適な環境を維持しています。					

2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H29年度	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度
(事業費)						
当初予算額	26,125,000	27,759,000	25,665,000	39,474,000		
国庫支出金	0	0	0	0		
都支出金	5,937,000	3,214,000	3,110,000	1,801,000		
市債	0	0	0	0		
その他	0	0	0	0		
一般財源	20,188,000	24,545,000	22,555,000	37,673,000		
予算現額	26,165,000	27,759,000	25,656,000	0		
決算額	23,002,013	23,199,838	22,265,023	0		
国庫支出金	0	0	0	0		
都支出金	4,968,278	3,047,760	2,894,461	0		
市債	0	0	0	0		
その他	0	0	0	0		
一般財源	18,033,735	20,152,078	19,370,562	0		
執行率	87.9	83.6	86.8	0.0		
(人件費)						
職員数	5.76	6.66	6.76	0.00		
職員人件費	44,246,154	52,374,420	54,296,016	0		
嘱託員数	0.00	0.00	0.00	0.00		
嘱託員人件費	0	0	0	0		
(間接経費)						
間接経費	418,419	444,250	616,126	0		
総コスト	67,666,586	76,018,508	77,177,165	0		

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				R 3年度 目標値
			H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	
周辺の美化清掃を実施した駅数	3	実績	3	3	-	-	5
	駅	達成率	60.0	60.0	0.0	0.0	
自主的な清掃活動への参加団体数	72	実績	64	59	-	-	80
	団体	達成率	80.0	73.8	0.0	0.0	
美化活動における府中駅周辺のごみ収集量	8.68	実績	6.73	5.42	-	-	8
	kg/回	達成率	118.9	147.6	-	-	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

【指標1】平成29年度における実績値5を目標としており、市民協働の手法を活用し、様々な形で清掃活動を行っている。
 【指標2】他の類似制度もあり、本数値のみでの評価は難しいが、毎年順調に実績を残している。なお、平成31年度については、落葉の時期に荒天が続いたため、申込数が減少した。
 【指標3】あくまで趣旨は美化意識の向上であり、ごみ回収量の減少を目指すものである。

4 施策の進ちょく状況

	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度
進ちょく状況	目標達成に向け順調に進ちょくしている	目標達成に向け順調に進ちょくしている		
達成できている点	空き家対策について、平成29年度に策定した計画に基づき、専門的知見を有する委員で構成される協議会において、特定空家等の認定に向けた協議を行った。	空き家対策について、平成29年度に策定した計画に基づき、専門的知見を有する委員で構成される協議会において、特定空家等の認定に係る協議を行った。		
達成できていない点	啓発等により市民の環境美化意識の向上を図ることができている一方、依然として路上喫煙やポイ捨て等の苦情・相談が寄せられている。指導・啓発を行う地域の選択や効果的な対策を進めるなど、一層のマナー向上の啓発を行う必要がある。	啓発等により市民の環境美化意識の向上を図ることができている一方、依然として路上喫煙やポイ捨て等の苦情・相談が寄せられている。指導・啓発を行う地域の選択や効果的な対策を進めるなど、一層のマナー向上の啓発を行う必要がある。		

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果
<p>■「府中市まちの環境美化条例」で指定された【環境美化推進地区】を中心として、協定を締結した自治会、商店会、事業所などと協働により、定期的な美化活動および啓発活動を行うとともに、【喫煙禁止路線】における路上喫煙のパトロールや地域の団体等による自主清掃の支援を実施し、まちの環境美化に努めている。</p> <p>■市民の安全で快適な生活環境確保のため、空き地・空き家対策、害虫・害獣対策を進めている。空き家対策においては、平成23年度に空き家調査を実施し、市内の荒廃した空き家を把握し、同調査結果を踏まえた管理者指導を進め解決を図っているほか、根拠法に基づく体制整備に努めた。平成28年度に附属機関を設置し、平成29年度には対策計画を策定をした。害虫・害獣対策においては、スズメバチの巣の駆除支援、害虫の自主駆除の支援のために器具の貸出し・駆除方法の指導、東京都と連携してアライグマ・ハクビシン対策等を行っている。</p> <p>■飼い主のいない猫の繁殖を抑制するため、登録している活動団体に去勢・不妊手術費の助成を行っているほか、平成28年度に『府中市「飼い主のいない猫」対策ガイドライン』を策定し、市・ボランティア・地域が同じ方向性で対策に取り組むための体制整備を行った。</p>
今後の課題、状況や市民ニーズの変化
<p>■路上へのポイ捨て行為、ペットのふん尿放置等は未だに多く、いかに市民個々の環境美化意識向上を図るか、現在の事業と平行しながら、新たな啓発方法を考えていかなければならない。</p> <p>■飼い主のいない猫対策について、周知啓発による市民の理解の深化が求められている。</p> <p>■管理されていない空き家の苦情相談が寄せられている。日々の改善指導のほか、問題の抜本的解決を図るため、法令・例規の定めに基づいて整備された体制（平成29年度に計画策定）により、体系的に整理された形で対策に取り組む必要がある。</p>
今後の展開
<p>■環境美化の推進は、市民が主体となって積極的に関わっていくという意識を定着させていくために、効果的な事業実施と啓発を促進させていく。また、指導や啓発を行う地域の選択・集中を進めるなどの対策を講じていく。【環境美化推進地区】においては、美化協定締結団体と協力員の拡大を図り、協働による美化活動の輪を広げていく。【喫煙禁止路線】においては、路上喫煙パトロールについて、より効果的になるよう巡回時間や場所を改善していく。</p> <p>■生活形態の多様化により、害虫駆除等の相談内容も多様化してきており、適切な対応に必要な知識の取得も積極的に行っていく。加えて住環境におけるアライグマ・ハクビシンの対策について、関係団体等と連携し対応していく。</p> <p>■平成23年度に実施した空き家調査の結果を活用し、引き続き空き家対策を行っていく。また、法令・例規に基づき整備された市の体制により、対策の方向性の明確化を図る。</p>

6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
環境美化推進事業	環境美化推進地区内にある駅の周辺において、美化清掃活動を実施する。「府中駅」・「中河原駅」・「分倍河原駅」・「東府中駅」・「府中本町駅」が該当駅であり、平成33年度までに、全5駅での実施を目標とする。	環境美化推進地区内にある駅の周辺において、美化清掃活動を実施する。「府中駅」・「中河原駅」・「分倍河原駅」・「東府中駅」・「府中本町駅」が該当駅であり、平成33年度までに、全5駅での実施を目標とする。	環境美化推進地区内にある駅の周辺において、美化清掃活動を実施する。「府中駅」・「中河原駅」・「分倍河原駅」・「東府中駅」・「府中本町駅」が該当駅であり、平成33年度までに、全5駅での実施を目標とする。	環境美化推進地区内にある駅の周辺において、美化清掃活動を実施する。「府中駅」・「中河原駅」・「分倍河原駅」・「東府中駅」・「府中本町駅」が該当駅であり、平成33年度までに、全5駅での実施を目標とする。
【進捗状況】	目標達成に向け順調に進ちよくしている	目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
生活環境部 環境政策課	「府中駅」・「中河原駅」において美化活動を実施（「分倍河原駅」清掃は雨天のため中止）。その他、自主清掃活動の支援等を通じ、引き続き市民のまちの環境美化意識の向上を図ることができた。			
事業種別	「府中駅」・「中河原駅」において美化活動を実施（「分倍河原駅」清掃は雨天のため中止）。その他、自主清掃活動の支援等を通じ、引き続き市民のまちの環境美化意識の向上を図ることができた。			
主要な事務事業	「府中駅」・「中河原駅」において美化活動を実施（「分倍河原駅」清掃は雨天のため中止）。その他、自主清掃活動の支援等を通じ、引き続き市民のまちの環境美化意識の向上を図ることができた。			
4か年事業費計(単位:千円)	41,328			
空き家・空き地等対策事業	・継続して荒廃した空屋所有者への改善指導を実施する。平成29年度中に策定された「府中市空家等対策計画」に基づき、特定空家等に対する措置を実施する体制を整備する。	・継続して荒廃した空屋所有者への改善指導を実施する。平成29年度中に策定された「府中市空家等対策計画」に基づき、特定空家等に対する措置を実施する体制を整備する。	・継続して荒廃した空屋所有者への改善指導を実施する。平成29年度中に策定された「府中市空家等対策計画」に基づき、特定空家等に対する措置を実施する。	・継続して荒廃した空屋所有者への改善指導を実施する。平成29年度中に策定された「府中市空家等対策計画」に基づき、特定空家等に対する措置を実施する。
【進捗状況】	目標達成に向け順調に進ちよくしている	目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
生活環境部 環境政策課	日々の改善指導を継続的にを行い、市民の管理意識向上を図るとともに、専門的知見を有する委員で構成する協議会において、空家対策計画に基づく体制整備を進めた。			
事業種別	日々の改善指導を継続的にを行い、市民の管理意識向上を図るとともに、専門的知見を有する委員で構成する協議会において、空家対策計画に基づく体制整備を進めた。			
主要な事務事業	日々の改善指導を継続的にを行い、市民の管理意識向上を図るとともに、専門的知見を有する委員で構成する協議会において、空家対策計画に基づく体制整備を進めた。			
4か年事業費計(単位:千円)	2,644			
市民清掃活動事業	「多摩川清掃市民運動」を実施することにより、市民のまちの環境美化意識の向上に努める。	「多摩川清掃市民運動」を実施することにより、市民のまちの環境美化意識の向上に努める。	「多摩川清掃市民運動」を実施することにより、市民のまちの環境美化意識の向上に努める。	「多摩川清掃市民運動」を実施することにより、市民のまちの環境美化意識の向上に努める。
【進捗状況】	目標達成に向け順調に進ちよくしている	目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
生活環境部 環境政策課	地域・企業等との連携により、毎年の定例的な事業として市民に定着している、多くの市民の参加を得ることができた。参加することで、多くの市民がまちの環境美化について意識することにつながっている。			
事業種別	地域・企業等との連携により、毎年の定例的な事業として市民に定着している、多くの市民の参加を得ることができた。参加することで、多くの市民がまちの環境美化について意識することにつながっている。			
主要な事務事業	地域・企業等との連携により、毎年の定例的な事業として市民に定着している、多くの市民の参加を得ることができた。参加することで、多くの市民がまちの環境美化について意識することにつながっている。			
4か年事業費計(単位:千円)	3,840			

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	H31年度		R 2年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 環境美化推進事業	30		9,917,000	9,184,120	21,888,000	市民と事業者との連携協働により、美化活動推進と美化意識の啓発を行う。	B	1
2 害虫等駆除対策事業	30		2,195,000	1,012,719	1,998,000	危険害虫及び不快環境獣等の駆除・捕獲などによる市民の安全な生活環境保全事業	B	1
3 空き家・空き地等対策事業	20		543,000	415,214	2,122,000	空き地及び空き家の適正管理を指導し、周辺地域住民の生活環境の悪化を防止する。	A	
4 市民清掃活動事業	30		1,118,000	1,055,966	1,060,000	市民・事業者により多摩川河川敷を一斉に清掃する。	B	1
5 環境衛生普及対策事業	30		255,000	162,254	261,000	緊急発生した衛生害虫駆除等による快適な生活環境の確保	B	1
6 飼い主のいない猫対策事業	30		2,793,000	2,063,479	2,651,000	飼い主のいない猫の増加及び被害防止のため、地域ぐるみで実施する対策活動の啓発と支援。	B	1
7 公衆トイレ維持管理事業	30		8,844,000	8,371,271	9,494,000	西府駅北公衆トイレ及び府中駅西公衆トイレ(だれでもトイレ)の維持管理に関する事	B	1
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			25,665,000	22,265,023	39,474,000			

施策評価シート

記載年月	令和2年9月
対象年度	平成31年度

1 施策の名称・めざす姿

施策名	031	公害対策の推進				
総合計画	基本目標	安全で快適に暮らせる持続可能なまち（生活・環境）			担当部署名	生活環境部 環境政策課
	基本施策	03	生活環境の保全			
めざす姿	騒音、振動、悪臭、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、地盤沈下を中心としたいわゆる典型7公害の監視体制が継続されており、事業者に対し指導、助言等を行うことにより公害の発生が未然に防止されています。また、市民、事業者が積極的に環境活動に取り組み、快適に過ごせる環境が保全されています。					

2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H29年度	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度
(事業費)						
当初予算額	19,545,000	33,058,000	22,285,000	20,509,000		
国庫支出金	0	0	0	0		
都支出金	4,296,000	4,324,000	4,261,000	5,544,000		
市債	0	0	0	0		
その他	0	0	2,000,000	0		
一般財源	15,249,000	28,734,000	16,024,000	14,965,000		
予算現額	19,485,000	33,054,000	22,791,000	0		
決算額	18,103,930	30,934,375	19,746,262	0		
国庫支出金	0	0	0	0		
都支出金	4,263,000	4,234,000	4,261,000	0		
市債	0	0	0	0		
その他	0	100,000	1,200,000	0		
一般財源	13,840,930	26,600,375	14,285,262	0		
執行率	92.9	93.6	86.6	0.0		
(人件費)						
職員数	2.22	2.22	2.02	0.00		
職員人件費	17,053,205	17,458,140	16,224,549	0		
嘱託員数	1.00	1.00	1.00	0.00		
嘱託員人件費	3,120,400	3,125,886	3,090,923	0		
(間接経費)						
間接経費	233,917	214,798	275,262	0		
総コスト	38,511,452	51,733,199	39,336,996	0		

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				R 3年度 目標値
			H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	
市民1,000人当たりの公害苦情件数	0.39	実績	0.32	0.49	-	-	0.29
	件	達成率	90.6	59.2	-	-	
騒音・大気汚染などの公害に悩まされている市民の割合	15.1	実績	13.2	11.8	-	-	11.9
	%	達成率	90.2	100.8	-	-	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

指標2については目標を下回っている。指標1については工場、指定作業場からの公害に関する苦情は減少しているが、近隣関係の相談が増加しており、生活の多様化や地域コミュニティの希薄化が一因と思われ、環境部門のみの対応の困難さを感じている。

4 施策の進ちょく状況

	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度
進ちょく状況	目標達成に向け順調に進ちょくしている	目標達成に向け順調に進ちょくしている		
達成できている点	・各種項目における計画的な測定の実施	・各種項目における計画的な測定の実施		
達成できていない点	・一部の苦情処理における根本的な解決	・一部の苦情処理における根本的な解決		

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果
<p>主な取組として、騒音・振動測定、大気常時監視・測定調査、ダイオキシン類調査を実施している。その他、水質調査や公害相談受付を中心に、工場認可申請や特定建設作業の届出、開発行為や中高層の事前協議などの際に公害発生の未然防止のために業者への指導を行っている。</p> <p>東日本大震災における東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴い、市内のプール水、地下水の放射性物質や小学校等の空間放射線量、土壌の放射性物質の調査分析を実施した。また、環境保全活動センターで空間放射線量測定器の貸出を行った。プール水の測定は平成26年度を以って休止、小学校での空間放射線量測定は平成27年度から、毎日22校を週1回1校に変更した。「電気用品安全法」「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律」「ガス事業法」に基づく電気用品等適正表示の調査は経済観光課に事務移管した。</p> <p>これらの成果を「府中の環境」として冊子を作成し、市民へ公表した。</p>
今後の課題、状況や市民ニーズの変化
<p>騒音・振動調査や水質汚濁・大気汚染調査などの実施にあたり、国の基準値や都の条例の規制値などの制度改正に注視を要する。また、権限移譲に伴い事務事業が増加している。</p> <p>苦情については、迅速な対応が求められるが、生活騒音など近隣間での苦情相談が増加しており、解決に時間がかかる、または困難な事例もある。また、環境法令の改正などにより、業務の増加も見込まれ、円滑な業務遂行のためにも、職員の専門的な知識の向上、外部委託等の検討も求められる。</p>
今後の展開
<p>公害問題は、予測困難な新たな問題が発生することもあることから、日ごろから環境の監視体制を強化するとともに、事業者等に対する公害発生防止のための指導や支援、情報提供が必要であり、公害の苦情体制の充実、国や都など関係機関との連携により、新たな公害にも迅速に対応できるようにしていく。また、職員の経験不足を補うため、専門員の配置を進めたい。</p>

6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
公害防止指導対策事業	苦情への迅速な対応。 計画的な環境測定の実施。	苦情への迅速な対応。 計画的な環境測定の実施。	苦情への迅速な対応。 計画的な環境測定の実施。	苦情への迅速な対応。 計画的な環境測定の実施。
	【進捗状況】 やや遅れているが、概ね順調	【進捗状況】 やや遅れているが、概ね順調	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署				
生活環境部 環境政策課				
事業種別				
主要な事務事業	計画的な測定を実施した。 苦情処理について、相隣関係の苦情は解決困難な事例が多く、対応に苦慮している。	計画的な測定を実施した。 苦情処理について、相隣関係の苦情が増加傾向で解決時間を要する事例や解決困難な事例が多い。		
4か年事業費計(単位:千円)				
	60,036			
環境衛生分析調査事業	計画的な環境測定の実施。	計画的な環境測定の実施	計画的な環境測定の実施	計画的な環境測定の実施
	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署				
生活環境部 環境政策課				
事業種別				
主要な事務事業	計画的な測定を実施し、結果を公表した。	計画的な測定を実施し、結果を公表した。		
4か年事業費計(単位:千円)				
	12,320			
	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署				
事業種別				
4か年事業費計(単位:千円)				

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の前算額と差が生じる場合があります。また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	H31年度		R 2年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 公害防止指導対策事業	20		15,099,000	14,802,810	14,071,000	苦情処理、大気常時監視、騒音・振動測定などの公害防止指導対策	B	1
2 環境衛生分析調査事業	20		7,186,000	4,943,452	6,438,000	大気や水質、地下水、土壌汚染、放射性物質などの汚染状況の調査及び汚染防止対策	B	1
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			22,285,000	19,746,262	20,509,000			

施策評価シート

記載年月	令和2年9月
対象年度	平成31年度

1 施策の名称・めざす姿

施策名	032	斎場・墓地の管理運営				
総合計画	基本目標	安全で快適に暮らせる持続可能なまち（生活・環境）			担当部署課名	生活環境部 住宅勤務課
	基本施策	03	生活環境の保全			
めざす姿	府中の森市民聖苑が安定的・効率的に運営され、市民が葬儀等を希望に沿った形で執り行うことができます。 また、稲城市と共同で墓地及びメモリアルホールを管理運営し、安定的かつ持続性の高い公営の墓地を求める市民の需要に応えています。					

2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H29年度	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度
(事業費)						
当初予算額	252,246,000	228,553,000	222,324,000	318,572,000		
国庫支出金	0	0	0	0		
都支出金	0	0	0	0		
市債	0	0	0	0		
その他	80,066,000	79,072,000	85,431,000	163,751,000		
一般財源	172,180,000	149,481,000	136,893,000	154,821,000		
予算現額	252,246,000	235,810,000	222,332,000	0		
決算額	249,236,982	233,309,110	219,333,576	0		
国庫支出金	0	0	0	0		
都支出金	26,900,000	0	0	0		
市債	0	0	0	0		
その他	76,801,367	80,500,599	76,264,643	0		
一般財源	145,535,615	152,808,511	143,068,933	0		
執行率	98.8	98.9	98.7	0.0		
(人件費)						
職員数	6.45	6.46	6.46	0.00		
職員人件費	49,546,475	50,801,614	51,886,429	0		
嘱託員数	0.00	0.00	0.00	0.00		
嘱託員人件費	0	0	0	0		
(間接経費)						
間接経費	1,096,764	1,830,247	1,454,288	0		
総コスト	299,880,221	285,940,971	272,674,293	0		

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				R 3年度 目標値
			H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	
斎場平均待ち日数	2	実績	2.6	2.4	-	-	1.9
	日	達成率	73.1	79.2	-	-	
芝生墓地の供給状況	39.4	実績	47	53.4	-	-	100
	%	達成率	47.0	53.4	0.0	0.0	
普通墓地の供給状況	49.9	実績	62.3	75.6	-	-	100
	%	達成率	62.3	75.6	0.0	0.0	
合葬式墓地の供給状況	16.8	実績	22.9	28.3	-	-	46.96
	%	達成率	48.8	60.3	0.0	0.0	
樹林式墓地の供給状況	19.9	実績	30	40	-	-	60
	%	達成率	50.0	66.7	0.0	0.0	
		実績					
		達成率					

指標の分析

斎場の平均待ち日数の基準値を2日としているが、休館日や火葬を行わない日と重なると待ち日数が増加傾向にあり、また、市民の死亡者数に大きく連動するため、死亡者数が年々増加傾向にある中で特に冬の時期に最大待ち日数が11日となった。墓地の供給期間は、世代間公平の視点から平面墓地（芝生・普通墓地）は7年間、集合墓地（合葬式・樹林式墓地）は21年間と計画し、平成27年度に墓地募集を開始してから堅調に供給されている。しかしながら、平面墓地（芝生墓地）と集合墓地（合葬式墓地）の墓地申込数が減少傾向にあり、最近の市民ニーズに対応した申込みしやすい制度とするなど墓地供給方法等の見直しを検討する必要がある。

4 施策の進ちょく状況

	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度
進ちょく状況	目標達成に向け順調に進ちょくしている	目標達成に向け順調に進ちょくしている		
達成できている点	府中の森市民聖苑を安定的かつ効率的に運営するとともに、利用者ニーズに応え、市民の皆様が葬儀や火葬等をつつがなく行うことができている。 世代間公平の視点から、計画的に墓地が供給されている。	府中の森市民聖苑を安定的かつ効率的に運営するとともに、利用者ニーズに応え、市民の皆様が葬儀や火葬等をつつがなく行うことができている。 世代間公平の視点から、計画的に墓地が供給されている。		
達成できていない点	市民聖苑の運営にあたっては、待ち日数の解消に至っておらず、火葬件数が増加傾向にある中で、葬儀等の多様化や簡素化等の利用者ニーズの変化などに対応した効率的かつ柔軟な運営ができていない。また施設や設備の老朽化が進む中での十分な改修や更新等ができていない。	市民聖苑の運営にあたっては、待ち日数の解消に至っておらず、火葬件数が増加傾向にある中で、葬儀等の多様化や簡素化等の利用者ニーズの変化などに対応した効率的かつ柔軟な運営ができていない。また施設や設備の老朽化が進む中での十分な改修や更新等ができていない。		

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果

- 斎場
斎場の効率的運営を図り、通夜待ち日数を減少させるため、平成20年度に第4式場を開設するとともに友引の日の営業も開始した。また、火葬件数の増加に伴い、平成20年度に火葬炉2基を増設した。平成25年度は中央監視システムの更新をはじめ、照明制御操作盤の交換、火葬炉、厨房機器及び排水設備の修繕、蓄電池の交換、屋上床タイル目地補修などを行い経年劣化対策を講じた。平成26年度には屋上塗装改修工事及び祭壇洗浄等を実施した。平成27年度には内壁タイル剥離か所の除去、側溝及び車止めの交換修繕等の実施、また法要和室の椅子席化を図った。平成28・29年度には内壁改修工事を実施した。平成30年度には駐車場料金の改定に伴う精算機を改修を行うとともに、施設内料理店、売店の選定(5年毎)を実施した。また、平成30年度・令和元年度には空調設備の冷温水発生機の交換修繕を行った。
- 墓地
稲城市と共同して平成24年5月に稲城・府中墓苑組合を設立し、組合を事業主体として、平成25年3月に稲城市の南山東部土地区画整理事業地内に墓苑用地を取得後、平成27年8月までに全ての整備工事が完了し、平成27年度から本市が関わる初の公営墓地として市民に供給を開始した。

今後の課題、状況や市民ニーズの変化

- 斎場
市民聖苑の利用においては火葬件数が増加する一方で、式場においては告別式のみを行う利用や、葬式を行わずに火葬のみを行う利用が増加しています。今後、利用者ニーズの把握・分析等に努め、利用者ニーズに応じた効率的かつ柔軟な施設運営に努める必要があります。
- 墓地
施設の供用開始後の安定した管理運営を実現するため、組合と組織団体(府中市・稲城市)の3者で緊密に連携・協議を行っていく。安定的に墓地供給することが望ましいが、昨今の社会情勢の変化から市民ニーズも変化しており、墓地供給方法等の見直しを検討する必要がある。

今後の展開

- 斎場
市民聖苑の運営にあたっては、待ち日数の減少に努めるとともに、利用ニーズの多様化や簡素化等の変化に対応した効率的かつ柔軟な施設運営に努めます。また、開設後24年が経過する中で、円滑かつ安定的な施設運営を図るため、経年劣化等による施設・設備の点検等を強化継続し、必要な改修、修繕・更新等を予防的な観点から積極的に進めるとともに、令和8年度には築30年を迎えることから大規模修繕に向けて検討を行います。
- 墓地
組合の墓地供給計画の着実な推進による安定的な財政運営及び管理運営が図られるよう、組織団体として積極的に協力・支援を行っていくとともに、新たな市民ニーズに対応した申込みしやすい制度とするなど墓地供給方法等の見直しを検討していく。

6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
府中の森市民聖苑管理運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ・主燃炉側壁セラミック修繕（1号～6号炉） ・棺台車交換修繕 ・冷温水機気密箇所分解修繕 ・排水管洗浄委託 ・保冷库修繕など。 ・大規模修繕計画策定に向けた調査の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・主燃炉側壁セラミック修繕（1号～6号炉） ・キャリア台車交換修繕 ・冷温水機気密箇所分解修繕 ・排水管洗浄委託 ・保冷库修繕など。 ・大規模修繕計画策定に向けた調査の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・主燃炉側壁セラミック修繕（1号～6号炉） ・棺台車交換修繕 ・LED化照明交換委託 ・排水管洗浄委託 ・マルチエアコン修繕工事 ・保冷库修繕・漆器洗浄機修繕など。 ・大規模修繕計画の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・主燃炉側壁セラミック修繕（1号～6号炉） ・キャリア台車交換修繕 ・LED化照明交換委託 ・排水管洗浄委託 ・保冷库修繕 ・冷蔵庫修繕など。 ・大規模修繕計画策定
	【進捗状況】 やや遅れているが、概ね順調	【進捗状況】 やや遅れているが、概ね順調	【進捗状況】	【進捗状況】
	所管部署			
	生活環境部 住宅勤務課			
	事業種別			
4か年事業費計(単位:千円)				
782,616				
市民墓地整備・管理運営事業	<p>稲城・府中墓苑組合の運営について組織団体で構成する運営協議会において協議するとともに、墓地の使用者募集に係る市広報やホームページ掲載、申込みしおりの配布など協力し、市民に公営墓地を計画的に供給する。</p>	<p>稲城・府中墓苑組合の運営について組織団体で構成する運営協議会において協議するとともに、墓地の使用者募集に係る市広報やホームページ掲載、申込みしおりの配布など協力し、市民に公営墓地を計画的に供給する。</p>	<p>稲城・府中墓苑組合の運営について組織団体で構成する運営協議会において協議するとともに、墓地の使用者募集に係る市広報やホームページ掲載、申込みしおりの配布など協力し、市民に公営墓地を計画的に供給する。</p>	<p>稲城・府中墓苑組合の運営について組織団体で構成する運営協議会において協議するとともに、墓地の使用者募集に係る市広報やホームページ掲載、申込みしおりの配布など協力し、市民に公営墓地を計画的に供給する。</p>
	【進捗状況】 やや遅れているが、概ね順調	【進捗状況】 やや遅れているが、概ね順調	【進捗状況】	【進捗状況】
	所管部署			
	生活環境部 住宅勤務課			
	事業種別			
4か年事業費計(単位:千円)				
45,004				
	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
	所管部署			
	事業種別			
	4か年事業費計(単位:千円)			

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	H31年度		R 2年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 府中の森市民聖苑管理運営事業	30		210,511,000	207,520,576	306,821,000	市民が安心して葬儀等行なえる市民斎場を管理運営する事業	B	3
2 市民墓地管理運営事業	20		11,813,000	11,813,000	11,751,000	墓地の管理運営	B	1
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			222,324,000	219,333,576	318,572,000			